



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テーオーシー
 コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事務管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大谷卓男
 (氏名) 石田雅彦
 配当支払開始予定日

TEL 03-3494-2111
 平成28年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,698	2.2	3,330	9.4	3,326	12.8	2,270	15.9
28年3月期第2四半期	10,468	4.5	3,043	11.6	2,947	15.8	1,959	△28.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,755百万円 (△5.9%) 28年3月期第2四半期 1,865百万円 (△28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.60	—
28年3月期第2四半期	16.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	131,005	79,919	60.5	649.62
28年3月期	132,576	78,713	58.9	639.98

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 79,309百万円 28年3月期 78,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
29年3月期	—	4.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	2.8	6,600	6.1	6,500	8.6	4,400	5.5	36.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	136,879,352 株	28年3月期	136,879,352 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	14,794,011 株	28年3月期	14,793,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	122,085,454 株	28年3月期2Q	122,086,026 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、東京都心部を中心にオフィスビルの需要は底堅く、入居率や賃料水準は堅調に推移しております。また、商業ビルにおきましては、インバウンド消費の減速、台風など天候不順等の影響を受け厳しい状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,698百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益は3,330百万円(前年同四半期比9.4%増)、経常利益は3,326百万円(前年同四半期比12.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,270百万円(前年同四半期比15.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、ビルの特性に応じたテナント獲得の強化に取り組み、また、一部の施設ではリニューアルを実施し新規テナントを誘致するなど収益の拡大に努めました。当事業での売上高は8,597百万円(前年同四半期比2.5%増)となり、営業利益は3,106百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、大口顧客先であるホテルからの受注が安定的に推移し、売上高は872百万円(前年同四半期比0.3%減)となり、営業利益は91百万円(前年同四半期比70.5%増)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業では、請負工事の受注増により増収となりましたが、スポーツクラブ及び温浴施設事業では、温浴施設の改装等により減収となりました。この結果、その他での売上高は1,228百万円(前年同四半期比1.8%増)となり、営業利益は126百万円(前年同四半期比39.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,570百万円減少し131,005百万円となりました。主な減少は、有形固定資産が1,391百万円及び投資有価証券が826百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,776百万円減少し51,086百万円となりました。主な減少は、1年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が1,423百万円、未払金が822百万円及び短期借入金が558百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,205百万円増加し79,919百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,270百万円であり、主な減少は、剰余金の配当549百万円及びその他有価証券評価差額金543百万円であります。

自己資本比率は、前連結会計年度末の58.9%から当第2四半期連結会計期間末は60.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1,549百万円増加し13,954百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は3,950百万円(前年同四半期比26.8%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益3,358百万円及び減価償却費1,655百万円の計上であります。また、前第2四半期連結累計期間との比較では835百万円多い資金の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は567百万円(前年同四半期比37.2%減)となりました。

主な内訳は、減少要因として有形固定資産の取得による支出730百万円であります。また、前第2四半期連結累計期間との比較では336百万円少ない資金の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は2,622百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

主な内訳は、減少要因として長期借入金の返済による支出1,423百万円、短期借入金の純減額558百万円及び配当金の支払額547百万円であります。また、前第2四半期連結累計期間との比較では34百万円少ない資金の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

不動産事業では、都心部を中心にオフィス需要が堅調であり、賃料水準も底堅く推移しております。今後、オフィスビルを中心とした賃貸マーケットは安定的に推移するものと思われ、当社グループにおける業績予想につきましては、現時点において平成28年5月10日発表の予想数値の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,300	14,011
受取手形及び営業未収入金	973	966
商品及び製品	14	11
仕掛品	12	12
原材料及び貯蔵品	159	177
繰延税金資産	136	120
その他	315	274
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	14,877	15,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,910	50,475
機械装置及び運搬具(純額)	156	158
土地	40,959	40,959
建設仮勘定	896	942
その他(純額)	136	131
有形固定資産合計	94,058	92,667
無形固定資産		
借地権	7,076	7,076
施設利用権	42	40
その他	23	21
無形固定資産合計	7,141	7,138
投資その他の資産		
投資有価証券	15,401	14,575
保険積立金	854	864
繰延税金資産	10	10
その他	232	210
投資その他の資産合計	16,498	15,660
固定資産合計	117,699	115,466
資産合計	132,576	131,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53	47
短期借入金	17,280	16,722
1年内償還予定の社債	180	180
1年内返済予定の長期借入金	3,488	5,193
未払金	1,334	511
未払消費税等	148	231
未払法人税等	964	1,119
賞与引当金	84	95
その他	2,687	2,479
流動負債合計	26,221	26,582
固定負債		
社債	1,820	1,730
長期借入金	13,078	9,949
長期預り保証金	9,709	10,039
役員退職慰労引当金	315	309
環境対策引当金	59	59
退職給付に係る負債	537	547
資産除去債務	381	381
繰延税金負債	1,725	1,474
その他	14	12
固定負債合計	27,641	24,503
負債合計	53,862	51,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,082	10,082
利益剰余金	57,651	59,372
自己株式	△5,988	△5,988
株主資本合計	73,513	75,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,618	4,074
その他の包括利益累計額合計	4,618	4,074
非支配株主持分	581	609
純資産合計	78,713	79,919
負債純資産合計	132,576	131,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,468	10,698
売上原価	6,418	6,361
売上総利益	4,049	4,337
販売費及び一般管理費	1,006	1,006
営業利益	3,043	3,330
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	136	167
持分法による投資利益	13	11
その他	64	66
営業外収益合計	216	247
営業外費用		
支払利息	298	220
その他	14	31
営業外費用合計	312	252
経常利益	2,947	3,326
特別利益		
投資有価証券売却益	-	32
特別利益合計	-	32
税金等調整前四半期純利益	2,947	3,358
法人税、住民税及び事業税	934	1,055
法人税等調整額	35	3
法人税等合計	969	1,059
四半期純利益	1,978	2,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,959	2,270

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,978	2,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△543
繰延ヘッジ損益	7	-
その他の包括利益合計	△112	△543
四半期包括利益	1,865	1,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,847	1,726
非支配株主に係る四半期包括利益	18	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,947	3,358
減価償却費	1,599	1,655
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18	10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△5
環境対策引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△139	△169
支払利息	298	220
持分法による投資損益(△は益)	△13	△11
固定資産除売却損益(△は益)	-	8
売上債権の増減額(△は増加)	81	6
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	△15
仕入債務の増減額(△は減少)	△51	△5
預り保証金の増減額(△は減少)	△7	155
未払消費税等の増減額(△は減少)	△280	83
その他	165	△328
小計	4,636	4,940
利息及び配当金の受取額	147	175
利息の支払額	△311	△223
法人税等の支払額	△1,357	△942
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,115	3,950
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25	△25
定期預金の払戻による収入	25	75
有価証券の償還による収入	-	50
有形固定資産の取得による支出	△805	△730
無形固定資産の取得による支出	△2	△7
投資有価証券の取得による支出	△58	-
投資有価証券の売却による収入	-	80
保険積立金の払戻による収入	51	1
保険積立金の積立による支出	△87	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△903	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	380	△558
長期借入れによる収入	1,397	-
長期借入金の返済による支出	△3,783	△1,423
社債の償還による支出	△100	△90
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△547	△547
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,656	△2,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△445	760
現金及び現金同等物の期首残高	12,850	13,193
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,404	13,954

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びラン ドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,386	875	9,261	1,206	10,468	—	10,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	478	24	502	46	548	△548	—
計	8,864	899	9,763	1,252	11,016	△548	10,468
セグメント利益	2,893	53	2,946	91	3,037	6	3,043

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去3百万円、減価償却の調整額2百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプ ライ及びラン ドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,597	872	9,470	1,228	10,698	—	10,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	465	21	487	48	536	△536	—
計	9,062	894	9,957	1,277	11,234	△536	10,698
セグメント利益	3,106	91	3,197	126	3,324	5	3,330

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去3百万円、減価償却の調整額2百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、当該変更によるセグメント利益への影響額は軽微であります。